

ア 第27号 営農だより 3 2019

farming information

農政 topics

◇ 2019年度当初予算 農林部は微増

埼玉県は、2019年度の当初予算を発表した。農林部の予算は前年度比0.6%増の236億166万円となった。農業法人や大規模経営農家の増加を見据え、農作業で労力がかかる収穫や出荷作業を効率化。農機や施設導入への補助、高い経営能力を持つ人材育成に力を入れる。また、東京五輪・パラリンピックに向けて、県産農産物をPRする事業なども盛り込んだ。

(出所：日本農業新聞)

とっても濃厚で甘みのあるトマトを多くのお客様に提供します



生産者紹介

～朝霞支店管内～
高橋 克周さん



高橋さんはトマト農家を始められて3年目になる農業経営者で、普段はお父様と二人で栽培をされています。栽培品種は「桃太郎ネクスト」「CF千果」をメインに土耕栽培しており、収穫したトマトは新座・和光農産物直売センターやスーパーの地場野菜コーナーで販売しています。高橋さんは元々トマトが大好きで、美味しいものを作りたいという思いがあり、トマト栽培を始められました。栽培するにあたり予想外のアクシデントや天候不順による計画のズレなど、その都度対応していくのが大変ですが、頑張って作ったトマトが様々な方の食卓に並び、「美味しい」の気持ちで返ってくるのが嬉しいそうです。今後は経験を重ねて更に上質なトマトを作り、皆様にお届けしたいとお話しされていました。

(販売所：朝霞市岡1-5-52 3月中旬～販売を開始します)

営農窓口日誌

1月から3ヵ月に渡って『特定生産緑地制度』に関して特集してまいりました。
今月は制度に関して多くあった質問をピックアップして掲載させていただきます。

相続税納税猶予を適用している農地があるけどどうするべき？

特定生産緑地の指定を強くオススメします。生産緑地における納税猶予税額の免除要件は原則終身営農のため、指定せずに買取り申出すると相続税に加え、利子税の支払いが必要になります。さらに売却時には譲渡所得税も支払うため、売却後に残る資金は相当程度目減りするばかりか、場合によっては赤字となることもあるため、注意が必要です。

事前に特定生産緑地の指定を受けた場合はその時点から10年になるの？

事前に指定を受けていたとしても実際に特定生産緑地になるのは生産緑地指定を受けたときから30年経過後となります。例えば、生産緑地指定を受けてから25年後に特定生産緑地指定を受けた場合その10年後に再度検討が必要になるわけではなく、実際は15年後に特定生産緑地の再指定を検討することになります。時間の短縮はないので、希望する方は早めに申請しましょう。

買取り申出が可能となる「一定の故障」による営農困難とはどのようなもの？

農業に従事することを不可能にさせる故障を負った場合であり、両目の失明や精神の著しい障害等に加え、1年以上の入院や養護老人ホーム等への入所が該当します。さらに、その他著しく高齢となり運動機能が著しく低下した場合も含まれます。ただし、その証明には医師の診断書等が必要となります。

生産緑地指定を受けずに10年制限の特定生産緑地を選択することはできるの？

それはできません。特定生産緑地制度はあくまで生産緑地の買取り申出が可能となる時期を10年ずつ延長するための制度となるため特定生産緑地が運用される2022年以降に生産緑地指定を受ける場合であっても、まずは30年間農地としての管理が義務付けられる「生産緑地」の指定を受ける必要があります。生産緑地制度の趣旨は、さまざまな観点から農地を長期間保全することにあります。

経済配送センター統合・片山配送センター営業内容のご案内

平成31年2月12日(火)より新たにJAあさか野本店、朝霞支店(朝霞支店・内間木支店の統合)、経済配送センター(片山・内間木経済配送センターの統合)がオープンいたしました。

※経済配送センター統合後、片山支店(片山経済配送センター)では新座支店オープンまで自己取り対応いたします。

〈経済配送センター〉

住 所：埼玉県朝霞市大字溝沼466番地

電話番号：048-451-1133

営業時間：午前8:30～午後5:00



段ボール箱価格改定のお知らせ

平成28年10月より段ボール箱価格値下げおよび予約価格体系の見直しを行ってまいりました。

しかし、段ボール箱価格をめぐる情勢は厳しく、やむなく価格改定を実施させていただくことになりましたので、下記のとおりご連絡致します。

価格改定等詳細につきましては、決定次第追ってお知らせ致します。

1. 改定幅：現行価格(当用・予約)に対し平均8%値上げ
2. 改定理由：段ボール原紙値上げ等による(原紙主原料の古紙並びに輸送経費・人件費製造コストの上昇等)。
3. 改定期日：平成31年4月1日納品分より。



第四回農業技術研修会を開催しました！

2月18日(月)新本店会議室にて第四回農業技術研修会を開催しました。当日は、新規就農者を中心に全農西部営農課、営農渉外TAC担当者も含め26名が参加されました。研修は雪印種苗、カネコ種苗の技術員を講師にお招きして「枝豆(茶豆風味)の栽培方法」「緑肥の使い方」などについて詳しく説明していただきました。

なお、次回は4月に開催する予定となっています。



FMC

野菜散布用殺虫剤

デュポン™

ベネビア® OD

powered by
CYAZYPYR®



好評販売中!!

250ml

6,330円 (税込)

500ml

12,360円 (税込)

既存の薬剤に抵抗性が
発達した害虫にも
高い効果を示します！

幅広く害虫を防除！

枝豆の防除にも
おすすめ！

約2週間の残効性を示し
散布剤として長期間
作物を保護します！